

# 日刊 動労千葉

81.1.21

No. 637

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五ノ六(公衆)四七三二七二〇七

# 1.24 ジェット延長阻止 総決起集会へ!

とき 1月24日(土) 午後五時半

ところ 千葉市民会館(国鉄千葉駅徒歩5分)

主催 国鉄千葉動力車労働組合

主 三里塚芝山連合空港反対同盟

主催者あいさつ…… 動労千葉委員長 関川 幸・三里塚反対同盟副委員長 石橋政次

反対同盟からのたたかひの提起…… 事務局長 北原 敏治

動労千葉からのたたかひの提起…… 書記長 中野 洋

各界 連帯のあいさつ、 動労千葉各支部の決意表明、他



全ての組合員の皆さん、三里塚を闘い、ジェット闘争を支援してきた全ての労農学市民の皆さん! 歴史的な闘いへの決起の日がいつにやってきました。来たる一月二四日、千葉市民会館にて開かれる総決起集会こそ、いよいよジェット延長阻止の向う一ヶ月半にわたる連続的決戦に突入する、文字通りの総決起集会である。鉄路を武器に闘うわが動労千葉と、農地を武器に闘い続ける空港反対同盟、更に、ほう大な犠牲も惜しまず仕事をなげうってでも何日間も泊り込んででもかけつけるため全国で奮闘している多くの支援の仲間たちが、千葉の地に一堂に会し、燃える火の玉となって決戦突入の戦闘宣言を発するので。

同時に、1・24集会は、現在のしのぎをけずる組織攻撃防戦のまっ只中に突入している「銚子決戦」の勝利、「支部臨時大会圧勝」動労「本部」革新分子による「一月三〇日千葉地本再建」策「反動分子」を圧倒的にかちとるための総決起集会である。

一月三〇日に、こともあろうにこの千葉の地に動労「本部」革新分子の暴力分子を全国からかき集め五五〇名の規模で「再建大会」をデッチ上げようなどという策動が断じて許される訳はない。全ての力が怒りにもえ総決起し、叩きつぶすである。

全ての皆さん。「一月銚子決戦勝利、81・3決戦突入」を相言葉に、戦場根こそぎの総力動員で1・24に総結集しよう。

後何をしてかすかわからない。退職者といえどもまだまだ第一線だ。年金問題等々、現役もOBも一致協力して闘い続けよう」と激励した。

## 退職者激励会 ひらかる

組合と共に生きぬいてきた誇りを胸に、退職者を代表して小柴さん(幕張)があいさつ

本年度は新小岩四名、幕張八名、千葉転二名、蘇我四名、木更津三名、館山四名、勝浦七名、佐倉二名、成田三名の計三七名の先輩方が退職されることになっている。出席された退職者を代表して幕張支部の小柴さんから元気いっばいのあいさつと決意のべられ、会場は温い拍手につ

つまれた。小柴さんは「ここに居る仲間はいずれも30年〜40年間国鉄ですごした者ばかり。戦争も経験し、蒸気・ジーゼル・電気と全部を手にかけてきた。でも、あのマル生攻撃期の時ほどいやな時はなかった。一人一人を信頼し合って全員でのり切って、組合と一緒にやってきて今日退職できて、良かったなあという思いだ。まだまだ元気です。現役の皆さんに負けないよう丈夫で末永くがんばっていきます」とあいさつ。

この後、松崎新小岩支部長の音頭で「乾杯」を行って、懇親会に移った。長年の闘いの思い出話等尽きぬ話に花が咲き、杯が重なるにつれ自慢のどをきかせ、手拍子と気合々のうちにも活気のあふれる中で、約三時間半の激励会を終了した。

長い間、本当にご苦労さまでした。今後とも、いつまでもお元気で御活躍下さい!

## 関川委員長、穴戸OB会 会長が激励

五五年度退職者激励会が一月十九日、動力車会館会議室で開催された。長い間組合運動を支えぬき、このたび退職される方々を中心に、関川委員長、穴戸OB会会長、各支部支部長も参加し、四五名が杯をかたむけながら積もる話して花を咲かせ、和気合々のうちに今後とも末永き健康を互いに約して成功裡に終了した。

激励会は十三時半より開かれ、関川委員長が「今日まで動労千葉を育て支えてくれた皆さんに全組合員を代表して敬意を表すると共に私たちが現役もしっかりとこれを引き継ぎ、更なる闘いの中でたくましく大きく発展させていくことを誓う。退職後も元気で御活躍、又御鞭達をお願いしたい」と挨拶した。

続いて穴戸OB会会長より、長い間の健康をたたえ「自民党政権は今

全組合員 家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!